

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150480020		
法人名	医療法人 高仁会		
事業所名	グループホーム 悠々		
所在地	佐賀県多久市北多久町多久原2512-24		
自己評価作成日	令和元年12月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和2年1月22日	外部評価確定日	令和2年2月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>毎日の日常生活の中で「洗濯、掃除、食器などの後片付けや草むしり」等を、入居者と職員が一緒に行い共に生活しています。また、入居者ひとり一人の「出来る事」「出来ない事」を把握し支援を行っています。家庭的な雰囲気の中で入居者の思いや意思を大切に、入居者が明るく楽しく過ごしていけるように支援し、ホームレクや地域行事などを通じて、地域社会の有り様を感じ取れるように努めています。2ユニットの相互交流が図れるように年間レクでは、「ふれあい風船バレーや敬老会」などを実施しています。敬老会では御家族を招いて、御家族と職員と一緒に長寿のお祝いを行っています。敬老会後は家族懇談会を開催し御家族と職員との相互の交流や意見交換ができる場を設けています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>JR中多久駅から徒歩で通える場所に立地し、電車で通う職員もいる。同じ敷地には母体の病院や介護老人保健施設などもあり、住宅地も隣接しており人の行き交いも多い。グループホームでは、地域の方との交流を大事にされており、月3回のボランティア活動団体の受け入れや幼稚園との交流、地区の清掃活動など、年間を通したくさんの方達との交流があつている。また、病院と隣接している為、入居者がグループホームで生活しながら希望があれば認知症機能の予防としてデイケアに通えるようになっている。外出の機会が増えたり、グループホームで生活しながらデイケアに通える選択肢がある事は、生活の質も高められ良い刺激になっていると思われる。主任は、理念を大切にしており、個人の生活リズムやプライバシーに配慮したケアを行うよう職員にも伝えている。研修も毎月のように行っており、職員教育にも力を入れている。職員に対しては働きやすい職場をめざし、職員の意見を聞いたり、改善したりし、働きやすさにつながっていると感じた。敷地内に託児所もあるが、夏休みや冬休みは小学校低学年でも受け入れをするなど、女性職員でも働きやすい環境になっている。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	母体の高仁会理念に基づき、悠々の理念及び悠々ケア理念も職員間で共有しています。又、各ユニット毎に日々のケアの指針をフロアに掲示し入居者のニーズに沿ったケアが提供できるように努めています。	母体の高仁会理念に基づき、悠々の理念及び悠々ケア理念も職員間で共有しています。又、各ユニット毎に日々のケアの指針をフロアに掲示し入居者のニーズに沿ったケアが提供できるように努めています。	母体の医療法人の理念に基づき、グループホームの理念、ケア理念、各ユニットの目標などグループホームとして目指している姿やケアを掲げてあり、職員に分かりやすい内容になっている。いつでも理念が振り返られるよう、各職員名札に入れて確認ができるようにしている。職員には理念に基づいたケアを行うように伝えるなど、理念を意識させるような声かけをしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中多久区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、毎月ボランティア活動団体(ほたる文庫、ひまわりの会、カラオケ慰問)の受け入れを行い、地域の方との交流を図る様に努めています。	中多久区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、毎月ボランティア活動団体(ほたる文庫、ひまわりの会、カラオケ慰問)の受け入れを行い、地域の方との交流を図る様に努めています。	月に3回のボランティア活動団体の訪問や、地区の清掃活動、幼稚園との行事の交流など、年間を通じてたくさんの訪問や交流が行われている。住宅地の中に建っている為、近所の方も歩いて顔を見に来られる事もある。地域の行事に利用者に参加するなど、訪問だけではなく外出する事もあり、地域と関わりながら生活をされている様子が伺える。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人全体でふれあい交流会の開催と定期的な運営推進会議等を利用し、地域の人々へ認知症に関する理解・啓蒙を行っています。又、認知症カフェを立ち上げ相談活動も行っていきます。	法人全体でふれあい交流会の開催と定期的な運営推進会議等を利用し、地域の人々へ認知症に関する理解・啓蒙を行っています。又、認知症カフェを立ち上げ相談活動も行っていきます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間の活動計画を基に運営推進会議を開催しています。そこで年間活動に関するプレゼンを行い周知を図っています。又、出席者からの意見をくみ取りサービス向上に努めています。	年間の活動計画を基に運営推進会議を開催しています。そこで年間活動に関するプレゼンを行い周知を図っています。又、出席者からの意見をくみ取りサービス向上に努めています。	運営推進会議ではパワーポイントを使って写真などを多く取り込み、活動内容を分かりやすく伝えている。委員から地区の行事に関する事や運営のアドバイスを受け、行事に参加したり、改善に繋げた事もある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月1回開催される多久市地域包括センターで開催される多久市地域ケア会議に出席し、情報交換や関係性の構築の場としています。	毎月1回開催される多久市地域包括センターで開催される多久市地域ケア会議に出席し、情報交換や関係性の構築の場としています。	月に1回の地域ケア会議で、情報の交換を行っている。それ以外でも、市役所に出向き、入退去の状況や現在の空き状況など、グループホームの現状を伝えるように心がけている。市の担当者は顔なじみで、グループホームを紹介して下さるなど、協力してもらえる関係作りができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、身体拘束を行わないケアの提供ができるように、年2回は研修会を開催し職員に周知しています。又、契約書に身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、家族の意向等を確認しています。	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、身体拘束を行わないケアの提供ができるように、年2回は研修会を開催し職員に周知しています。又、契約書に身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、家族の意向等を確認しています。	法人で連携した研修や、グループホーム単独でも身体拘束の研修を行っている。研修に参加できなかった職員は、学んだことや感想などのレポートを提出されており、事業者として確認している。玄関は夜間以外は開いており、ドアが開けば音が鳴るようになっている。身体拘束が起こす利用者への弊害などを研修で伝え、利用者の意思を尊重したケアを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関する部署内研修や法人内研修に参加し虐待防止に努めています。又、職員間で虐待につながる恐れがないか、定期的に話し合い振り返りを行っています。	高齢者虐待に関する部署内研修や法人内研修に参加し虐待防止に努めています。又、職員間で虐待につながる恐れがないか、定期的に話し合い振り返りを行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	基本的人権や倫理等に関する研修会へ参加しています。不参加者はレポート提出を行い、人権教育を基にしたケアの展開が出来る様に努めています。	基本的人権や倫理等に関する研修会へ参加しています。不参加者はレポート提出を行い、人権教育を基にしたケアの展開が出来る様に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結・解約・改定に関しては、口頭及び文書にて説明を行い、納得して頂けたか最後に確認を行っています。	契約締結・解約・改定に関しては、口頭及び文書にて説明を行い、納得して頂けたか最後に確認を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的なカンファレンスの場に家族に参加して頂き、意見や要望等の確認を行っています。又、苦情相談窓口として、管理者及び計画作成担当者を配置しています。契約書内にも苦情処理に関する条項を設けており申立機関の説明も行っています。	定期的なカンファレンスの場に家族に参加して頂き、意見や要望等の確認を行っています。又、苦情相談窓口として、管理者及び計画作成担当者を配置しています。契約書内にも苦情処理に関する条項を設けており申立機関の説明も行っています。	カンファレンスはできるだけご家族の都合に合わせて行っており、そこで意見を聞くようにしている。常日頃の要望は面会時にこちらから話かけて聞くようにしており、信頼関係を築くようにしている。職員からも、主任不在時にご家族の意見や要望がなかったか、確認して聞いている。敬老会の時には家族会を開き、普段話せないような思いや希望等を聞くようにしている。ポスターなどで窓口を伝える事もしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	東西ユニット全体での定期的なミーティング等で、職員からの意見や提案を聞き、反映させる機会を設け業務改善や運営に努めています。	東西ユニット全体での定期的なミーティング等で、職員からの意見や提案を聞き、反映させる機会を設け業務改善や運営に努めています。	2つのユニット合同でミーティングを行っており、働きやすい職場作りの為に意見を出しあっている。職員からの意見は組織として必要なのか、個人の要望なのかを見定め、必要な時は改善している。職員の意見が反映されたこともある。また、反映された意見を、ミーティングの場で見直し、評価も行い次につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内の人事評価制度を基に各職員が年間目標立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事ができる様な仕組みを整備しています。	法人内の人事評価制度を基に各職員が年間目標立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事ができる様な仕組みを整備しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修会に関する情報提供を行い、研修に必要な勤務時間調整やe-ラーニング等に参加できる機会と確保に努めています。	法人内外の研修会に関する情報提供を行い、研修に必要な勤務時間調整やe-ラーニング等に参加できる機会と確保に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度は実施できていませんが、次年度は計画的に同業者との交流会の取り組みを行う予定です。	今年度は実施ができていないが、次年度は計画的に同業者との交流会の取り組みを行う予定です。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居にあたり本人や家族から、生活歴や現病歴等を聞き情報収集に努め、その情報を基に信頼関係の構築に努めるとともにフェイスシートやケアプランの作成を行い、安心した日常生活の場となるように努めています。	入居にあたり本人や家族から、生活歴や現病歴等を聞き情報収集に努め、その情報を基に信頼関係の構築に努めるとともにフェイスシートやケアプランの作成を行い、安心した日常生活の場となるように努めています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始にあたり家族から困っていることや要望等を十分に聞き、職員は家族も含めたサービス支援と、家族との信頼関係の構築に努めています。	サービス利用開始にあたり家族から困っていることや要望等を十分に聞き、職員は家族も含めたサービス支援と、家族との信頼関係の構築に努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人や家族から要望を聞き、張りのある日常生活を提供できるように努めています。又、希望者にはデイケア参加に関する案内や調整を行っています。	入居前に本人や家族から要望を聞き、張りのある日常生活を提供できるように努めています。又、希望者にはデイケア参加に関する案内や調整を行っています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	計画作成担当者や受け持ち担当者を中心に入居者の自立支援を踏まえ、入居者が日常生活の中で出来ることや得意なものを活かせるように努めています。又、生活歴や趣味を活かし、入居者と職員が共に支え合いながら過ごせるように取り組んでいます。	計画作成担当者や受け持ち担当者を中心に入居者の自立支援を踏まえ、入居者が日常生活の中で出来ることや得意なものを活かせるように努めています。又、生活歴や趣味を活かし、入居者と職員が共に支え合いながら過ごせるように取り組んでいます。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者と家族との関係性が維持できるように、必要に応じて電話連絡を行っています。又、タイムリーな情報伝達に努めています。面会時には日頃の様子を伝え、入居者と家族の絆が保てるように取り組んでいます。	入居者と家族との関係性が維持できるように、必要に応じて電話連絡を行っています。又、タイムリーな情報伝達に努めています。面会時には日頃の様子を伝え、入居者と家族の絆が保てるように取り組んでいます。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に面会制限の確認を行い、家族にできるだけ友人や知人の方も気軽に面会に来て頂けるように案内しています。又、入居者と家族との交流を大切に、母の日や父の日、敬老会等の日に記念行事を行い共に喜べる様に努めています。	入居前に面会制限の確認を行い、家族にできるだけ友人や知人の方も気軽に面会に来て頂けるように案内しています。又、入居者と家族との交流を大切に、母の日や父の日、敬老会等の日に記念行事を行い共に喜べる様に努めています。	近所の方が面会に来られる事もある。グループホームとしては、オープンにし誰でも来て良いと思われるように心がけている。徒歩で行ける馴染みの美容室へは数名の方が行かれており、ご家族だけでなく職員と一緒に行く事もある。少数ではあるが、面会制限のある方の把握も行き、写真を職員間で共有するなど、家族や本人の思いを尊重している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は入居者一人ひとりの性格や特性を考慮し、常に入居者が孤立しない様に関わりを持ち、入居者同士が円満な日常生活をおくれるように支援しています。	職員は入居者一人ひとりの性格や特性を考慮し、常に入居者が孤立しない様に関わりを持ち、入居者同士が円満な日常生活をおくれるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等により契約が終了しても、家族了承のもとお見舞いに行き、状態や状況の確認を行い必要に応じて、本人や家族に新たなサービスの紹介等を行っています。	入院等により契約が終了しても、家族了承のもとお見舞いに行き、状態や状況の確認を行い必要に応じて、本人や家族に新たなサービスの紹介等を行っています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で入居者と向き合い、表情や態度、雰囲気等を汲み取りながら希望や意向を確認しています。又、家族の希望や意向も確認し、カンファレンスにおいて検討しています。	日常生活の中で入居者と向き合い、表情や態度、雰囲気等を汲み取りながら希望や意向を確認しています。又、家族の希望や意向も確認し、カンファレンスにおいて検討しています。	一斉一律のケアではなく、入居者のリズムを把握し、それぞれの生活習慣に合わせたケアを行う事を職員には常々伝えている。本人や家族から話の中で趣味や好きな事を聞き、ケアに繋げている。意向の把握が困難な入居者には、こちらから提供し、一緒に過ごす中で好きな物ややりたい事を見つけていくようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人や家族から生活歴や生活環境・趣味や関心があるものを確認するようにしています。又、入居前のケアマネージャーにもサービス経過等を確認するようにしています。	入居時に本人や家族から生活歴や生活環境・趣味や関心があるものを確認するようにしています。又、入居前のケアマネージャーにもサービス経過等を確認するようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の「出来る事・出来ない事」を日常生活の中で把握するとともに、心身の残存機能等を見極めながら、個々の心身の状態や能力に応じて日常生活が楽しく送れるように努めています。	本人の「出来る事・出来ない事」を日常生活の中で把握するとともに、心身の残存機能等を見極めながら、個々の心身の状態や能力に応じて日常生活が楽しく送れるように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族からの希望や意向を確認し、定期的に生活状況全般のモニタリングを行い、カンファレンスを開催しています。介護計画の見直しを入居者の状況や状態に応じて、3カ月・6カ月と入居者に応じて随時検討・変更を行っています。内容については家族に説明し署名を頂いています。	本人や家族からの希望や意向を確認し、定期的に生活状況全般のモニタリングを行い、カンファレンスを開催しています。介護計画の見直しを入居者の状況や状態に応じて、3カ月・6カ月と入居者に応じて随時検討・変更を行っています。内容については家族に説明し署名を頂いています。	家族の都合に合わせてカンファレンスを開催している。職員もリビングの見守りの職員以外はカンファレンスに参加し、色々な意見が聞ける場になっている。本人・家族には自宅にいた頃の様子なども聞き、生活の場面の中でやりたい事を取り入れ、生きがいにつながるように支援している。職員も担当制にする事で、計画作成担当者それぞれの思いなどを話す機会になっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者一人ひとりの介護計画に沿いながら、ケアの提供を行いその状況や状態に応じた対応を、その都度、経過記録に具体的に記録するようにし介護計画の見直しに活かしています。	入居者一人ひとりの介護計画に沿いながら、ケアの提供を行いその状況や状態に応じた対応を、その都度、経過記録に具体的に記録するようにし介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別に理美容室や買い物外出など、個々のニーズに対応しています。病院受診の付き添いは基本的に家族へお願いしていますが、家族の状況により柔軟に対応しています。又、入居者や家族の意向により急な外出や外泊にも対応しています。	個別に理美容室や買い物外出など、個々のニーズに対応しています。病院受診の付き添いは基本的に家族へお願いしていますが、家族の状況により柔軟に対応しています。又、入居者や家族の意向により急な外出や外泊にも対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の生活を支えるものとして、理美容室や食事などを行う場所への外出、地域住民と触れ合う機会となる地区行事や幼稚園との交流、ボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らしづくりに努めています。	入居者の生活を支えるものとして、理美容室や食事などを行う場所への外出、地域住民と触れ合う機会となる地区行事や幼稚園との交流、ボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らしづくりに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時にかかりつけの医療機関の確認を行っています。又、心身の状態把握に努め、中多久病院の定期受診や必要に応じて、かかりつけの医療機関への受診も入居者と家族の意向を踏まえた対応を行っています。	契約時にかかりつけの医療機関の確認を行っています。又、心身の状態把握に努め、中多久病院の定期受診や必要に応じて、かかりつけの医療機関への受診も入居者と家族の意向を踏まえた対応を行っています。	入居時にこれまでの医療機関を尋ね、途切れないように支援している。もともと主治医がいない方はこちらから情報を伝えている。定期の受診はご家族にお願いしているが、状況次第では職員が付き添う事もある。母体の病院からは月に1回必ず診てもらうようになっており、緊急時は母体の病院が対応する体制を敷いている。24時間の対応ができる事で、家族や職員の安心感にもつながっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に入居者の健康状態の観察を行い、必要時には中多久病院の外来や病棟の看護師へ状態報告を行い、医師の診察を受けています。又、状態に応じて他医療機関に受診し、随時、家族との連絡調整もなっています。	日常的に入居者の健康状態の観察を行い、必要時には中多久病院の外来や病棟の看護師へ状態報告を行い、医師の診察を受けています。又、状態に応じて他医療機関に受診し、随時、家族との連絡調整もなっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合は家族の了承のもと、入院先の病院へ情報提供を行い、安心して治療が受けられるように努めています。又、面会を行い病院職員に可能な限り状態確認を行うように努め、家族と職員の間で情報交換を行い病状の把握にも努めています。	入院された場合は家族の了承のもと、入院先の病院へ情報提供を行い、安心して治療が受けられるように努めています。又、面会を行い病院職員に可能な限り状態確認を行うように努め、家族と職員の間で情報交換を行い病状の把握にも努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約書に重度化した場合に於ける対応に係る指針を記載しています。又、入居時に「入居時リスク説明書」にて、高齢者の特徴や身体的不調が起きた場合の確認事項と、かかりつけ医療機関や搬送先病院等の希望を書面にて取り交わし、専門医療機関での検査や治療に関する確認を行っています。	契約書に重度化した場合に於ける対応に係る指針を記載しています。又、入居時に「入居時リスク説明書」にて、高齢者の特徴や身体的不調が起きた場合の確認事項と、かかりつけ医療機関や搬送先病院等の希望を書面にて取り交わし、専門医療機関での検査や治療に関する確認を行っています。	現在の体制では、看護職がおらず、介護職のみの対応になるため、看取りまで行う事は難しいと感じている。そのため、入居時に家族の意向を聞き、重度化した際の流れや、高齢者の特徴を理解してもらうようにしている。職員には入居者の希望を一覧にし、緊急時に適切な対応ができるようにしている。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	安全管理や事故対応マニュアルの活用を図り、定期的に緊急時の訓練としてAEDの使用法やボディコールの訓練を行っています。	安全管理や事故対応マニュアルの活用を図り、定期的に緊急時の訓練としてAEDの使用法やボディコールの訓練を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の火災避難訓練と自然災害対策訓練を行っています。又、運営推進会議で、災害に関する情報提供や検討を行い、災害時は地域住民の協力を得ることを伝えています。又、入居者の方が昼夜を問わず避難できるように出口の説明を行い、避難経路の確認をしてもらっています。	年2回の火災避難訓練と自然災害対策訓練を行っています。又、運営推進会議で、災害に関する情報提供や検討を行い、災害時は地域住民の協力を得ることを伝えています。又、入居者の方が昼夜を問わず避難できるように出口の説明を行い、避難経路の確認をもらっています。	火災訓練と地震想定訓練を行っている。自然災害に対しては地区周辺の危険個所などを市役所と共有している。入居者へは冬の寒くて暗い状況も知ってほしいとの思いから、夜間の避難訓練を実施した事もある。運営推進会議などでは、地区の協力もお願いしているが、現状では地域の方の参加は少ない。備蓄品は母体の病院と合わせて300人×3日間分を準備している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	悠々の理念を基にしたケア目標に、利用者が自分らしく誇りを持って生活できることを掲げており、日々、入居者の人格の尊重とプライバシーの配慮に努めています。又、プライバシーを侵害しない様に訪室時はノックや排泄の声かけの仕方についても留意しています。	悠々の理念を基にしたケア目標に、利用者が自分らしく誇りを持って生活できることを掲げており、日々、入居者の人格の尊重とプライバシーの配慮に努めています。又、プライバシーを侵害しない様に訪室時はノックや排泄の声かけの仕方についても留意しています。	職員には接遇をはじめ、認知症の理解を含めた研修を行っている。理念にも掲げている通り、プライバシーやプライドを尊重し、自分に置き換えたかどうかという事を常に考えたケアをしてもらうよう伝えている。入浴なども、1対1で行い、必ず鍵をかけて行っている。排泄も、自分のお部屋で行うように配慮している。居室は、その方の自宅と同じと考え、ノックして入るようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の意思決定は本人の意向をできるだけ引き出し、尊重する様に努め必要に応じて助言を行っています。又、家族からもサポートして頂き、入居者の希望や思いを引き出すように取り組んでいます。	日常生活の意思決定は本人の意向をできるだけ引き出し、尊重する様に努め必要に応じて助言を行っています。又、家族からもサポートして頂き、入居者の希望や思いを引き出すように取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったりと楽しく過ごせるように入居者のペースを尊重することを目標に掲げ、入居者一人ひとりのペースに合わせて興味や趣味を取り入れながら、入居者のQOLを大切にしたい対応を行っています。	ゆったりと楽しく過ごせるように入居者のペースを尊重することを目標に掲げ、入居者一人ひとりのペースに合わせて興味や趣味を取り入れながら、入居者のQOLを大切にしたい対応を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	各居室内に洗面台を設置しており、居室内で洗顔や化粧ができるようにしています。又、理美容室に外出し身だしなみについても配慮しています。服装に関しては家族に依頼し、本人が好きな洋服を着て過ごせるようにしています。	各居室内に洗面台を設置しており、居室内で洗顔や化粧ができるようにしています。又、理美容室に外出し身だしなみについても配慮しています。服装に関しては家族に依頼し、本人が好きな洋服を着て過ごせるようにしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に準備や食後の後片付けなど、入居者と一緒に取り組んでいます。又、悠々の畑で採れた野菜等を料理したり、毎月手作りのオヤツ作りやお好みメニューを行い、食べる楽しみの場となるように取り組んでいます。	入居者と一緒に準備や食後の後片付けなど、入居者と一緒に取り組んでいます。又、悠々の畑で採れた野菜等を料理したり、毎月手作りのオヤツ作りやお好みメニューを行い、食べる楽しみの場となるように取り組んでいます。	食事は外注であるため、毎月や、多い時は1週間に1回、おやつ作りを行っている。畑で採れた芋などを料理し作ったものを食べる等楽しみを一緒に味わっている。「入居者が、自宅にいたらされるのではないかと常に自身に問いかけ、準備や片付けができる入居者には職員と一緒に行ってもらっている。入居者の希望で、時には外食を行う事もある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの食事摂取時の状態観察や摂取量の確認を行い記録するようにしています。特に脱水に気を付け、一日の中で水分補給を十分に行うようにしています。又、毎月体重測定を行い健康管理に努めています。	入居者一人ひとりの食事摂取時の状態観察や摂取量の確認を行い記録するようにしています。特に脱水に気を付け、一日の中で水分補給を十分に行うようにしています。又、毎月体重測定を行い健康管理に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者一人ひとりのADLや口腔内を考慮した声かけや口腔介助を行っています。又、歯科治療が必要な方については、家族に連絡し協力歯科医に往診に来て頂いています。	入居者一人ひとりのADLや口腔内を考慮した声かけや口腔介助を行っています。又、歯科治療が必要な方については、家族に連絡し協力歯科医に往診に来て頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者一人ひとりのADLに応じた排泄状況の観察と把握を行い、排泄パターンや行動パターンを把握し、失禁が減少するように努めています。又、必要な排泄ケア用品の使用を行い、尿もれ防止や褥瘡防止に努めています。	入居者一人ひとりのADLに応じた排泄状況の観察と把握を行い、排泄パターンや行動パターンを把握し、失禁が減少するように努めています。又、必要な排泄ケア用品の使用を行い、尿もれ防止や褥瘡防止に努めています。	職員間で入居者の排泄のサインなどの話をし、情報を共有している。失禁につながらず、パットも無駄使いにならない様、声かけや、お部屋に入ったタイミングで排泄の支援をしている。記録はパソコンに残す事で、後から確認できるようにしている。未排便の対応でチェック表を使用し、便秘にならない様にケアを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活の中で乳製品や食物繊維及び水分飲用を促し、散歩や軽運動を行い腸の活性化に努めています。必要に応じて下剤の投与を行い、便秘改善に努めています。又、看護師による浣腸の対応も行っています。	日常生活の中で乳製品や食物繊維及び水分飲用を促し、散歩や軽運動を行い腸の活性化に努めています。必要に応じて下剤の投与を行い、便秘改善に努めています。又、看護師による浣腸の対応も行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日可能であり、個別入浴やシャワー浴の対応も行っています。入浴前には血圧測定を行い、浴室の温度管理を行い、ヒートショック防止に努めています。	入浴は毎日可能であり、個別入浴やシャワー浴の対応も行っています。入浴前には血圧測定を行い、浴室の温度管理を行い、ヒートショック防止に努めています。	お風呂は毎日沸かしている。1日3.4名の入居者に入ってもらっている為、入居者の希望に沿えるようになっていく。ゆっくり入ってもらえるよう入浴はマンツーマンで行い、プライベートにも配慮している。希望があればシャワー浴にも対応している。お風呂がおっくうに思われぬように声かけを工夫して行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整や光・音等に配慮し、睡眠パターンの観察や把握を行い、日中の過ごし方にも留意しています。不眠傾向の方は医師の指示のもと眠前薬の服用も行い、安眠できるように取り組んでいます。	室温調整や光・音等に配慮し、睡眠パターンの観察や把握を行い、日中の過ごし方にも留意しています。不眠傾向の方は医師の指示のもと眠前薬の服用も行い、安眠できるように取り組んでいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は職員で管理を行い、薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認し、内服薬による状態変化の観察に努めています。	薬は職員で管理を行い、薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認し、内服薬による状態変化の観察に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者一人ひとりの生活歴や関心のあるものを個別に取り入れ、入居者の楽しみや生きがいとなるように努めています。又、年間レクやホームレクを行い、四季の移り変わりを感じ気分転換が図れるように努めています。	入居者一人ひとりの生活歴や関心のあるものを個別に取り入れ、入居者の楽しみや生きがいとなるように努めています。又、年間レクやホームレクを行い、四季の移り変わりを感じ気分転換が図れるように努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の希望により日常的に散歩や買い物・理美容室までの外出やドライブ外出などを行っています。又、家族と協力しながら外出・外泊等に関する支援も行っています。	入居者の希望により日常的に散歩や買い物・理美容室までの外出やドライブ外出などを行っています。又、家族と協力しながら外出・外泊等に関する支援も行っています。	利用者の方にも、買い物などの楽しみを味わってもらうために、希望があれば一緒におやつを買いにお店に行っている。ドライブやバスハイクなども計画的に行い、地域の情報を聞いたり、職員からの情報で良かった所やイベントがあれば月に1回～多い時で3回くらい外出をしている。歩いて行ける距離に美容室があり、職員も支援している。利用者の中にはデイケアを利用している方もおり、外出は特別な物でなく日常の中に位置づけられている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員で行っていますが、支払い直前に入居者本人にお金を手渡し、お釣りをもらえるようにしています。金銭出納帳簿は毎日チェックを行い、残金の確認を行っています。	金銭管理は職員で行っていますが、支払い直前に入居者本人にお金を手渡し、お釣りをもらえるようにしています。金銭出納帳簿は毎日チェックを行い、残金の確認を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話や手紙は本人の意向を尊重した対応を行っています。入居者の中には携帯電話を持参されており、電話中は居室内で会話されプライバシーの配慮に努めています。	電話や手紙は本人の意向を尊重した対応を行っています。入居者の中には携帯電話を持参されており、電話中は居室内で会話されプライバシーの配慮に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全入居者が共用の空間で、毎日快適に居心地よく日常生活を送れるように(音・臭い・照明・空調)の管理を行っています。又、入居者が春夏秋冬を感じられるように季節に応じた置物や飾りつけを行うようにしています。	全入居者が共用の空間で、毎日快適に居心地よく日常生活を送れるように(音・臭い・照明・空調)の管理を行っています。又、入居者が春夏秋冬を感じられるように季節に応じた置物や飾りつけを行うようにしています。	広いリビングの中にソファがあり、利用者の方はゆっくりと過ごしている。気になるような臭いもなく、リビングに大きな声や音などもなく静かである。職員は、気がけて換気をしたり、夜になれば照明を落とすなどして過ごしやすい空間づくりを心がけている。外出やイベントなどの写真もたくさん飾られており、外部の目に留まりやすい様になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者一人ひとりがゆっくりと穏やかに過ごせるように席の配慮や他入居者との交流が図れるような環境作りに努めています。又、テレビ番組やDVDで歌の鑑賞が出来たりと、入居者同士が楽しく過ごせるように努めています。	入居者一人ひとりがゆっくりと穏やかに過ごせるように席の配慮や他入居者との交流が図れるような環境作りに努めています。又、テレビ番組やDVDで歌の鑑賞が出来たりと、入居者同士が楽しく過ごせるように努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に持参して頂き、入居者が快適に過ごしてもらえるように好みや希望を取り入れながら、入居者一人ひとりに応じた空間づくりを行っています。又、入居後も入居者や家族と話し合いながら、居心地の良い環境作りを行っています。	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に持参して頂き、入居者が快適に過ごしてもらえるように好みや希望を取り入れながら、入居者一人ひとりに応じた空間づくりを行っています。又、入居後も入居者や家族と話し合いながら、居心地の良い環境作りを行っています。	居室には自宅で使い慣れた家具を持ち込まれていたり、化粧水や鏡があったり、ベッドでなく布団で過ごされていた方は、同じように布団で休まれたり、それぞれに希望の生活をされている。食器なども自分の物と分かるように、一人ひとり違うものを使う配慮もされている。個室にはトイレ、洗面所が付いており、プライバシーも確保でき、大きなクローゼットもあるので収納も十分である。畳のお部屋で、ご家族もゆっくり過ごせるような空間になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者一人ひとりのADLや残存機能を確認しながら、入居者が「できること」や「わかること」は、職員が声かけ見守りながら、安全で自立した日常生活が送れるように支援しています。	入居者一人ひとりのADLや残存機能を確認しながら、入居者が「できること」や「わかること」は、職員が声かけ見守りながら、安全で自立した日常生活が送れるように支援しています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない